

第2回 横浜市港北区地区センター指定管理者選定委員会 議事録	
日 時	令和7年8月27日（水）10時00分～11時40分
開 催 場 所	港北区役所4階1号会議室
出 席 者	長田委員長、加藤委員、川原委員、小堀委員、吉田委員
欠 席 者	なし
開 催 形 態	公開（傍聴者2名） ※一部非公開
議 題	1 応募団体の面接審査 2 指定候補者の選定
決 定 事 項	1 委員会の公開・非公開、評価基準については、第1回委員会で決定した内容のとおりとする。 2 「一般財団法人こうほく区民施設協会」を横浜市師岡コミュニティハウス第5期指定管理者の指定候補者として選定する。 3 区長への報告書の作成、議事録の確認は委員長に一任する。
議 事 録	<p>1 応募団体の面接審査</p> <p>第1回委員会で決定されたとおり、面接審査までは公開とし、指定候補者の選定（採点・審議）以降は非公開としたうえで、応募団体（1団体：一般財団法人こうほく区民施設協会）について、10分間のプレゼンテーション後、15分間の質疑応答を実施した。</p> <p style="text-align: center;">～ 以下、質疑応答の内容 ～</p> <p>（1）一般財団法人こうほく区民施設協会 （委員）すでに複数の施設の担当をしているが、師岡ならではの特徴について、もう少し強調して話してほしい。</p> <p>（応募団体）1つ目として、師岡コミュニティハウスの最大の特徴は、トレッサ横浜という商業施設にあるということ。施設を利用される方の4割が車で来館しており、買い物のついでに気軽に立ち寄れるという強みがある。この強みを生かしながら利用者数を増やしていきたい。</p> <p>2つ目は、地域活動の担い手が課題となっている中、師岡コミュニティハウスを通じて地域情報を利用者へ発信し、利用者が地域に関心を持ち、さらには地域の活動団体と一緒にいろいろな事業を展開していきたい。その事業によりさらに地域に関心を持ち、それがきっかけになって将来的には地域の人材の担い手になっていただく。</p> <p>このように、商業施設の中にあるという強みと、地域人材の担い手の育成、この2つに取り組んでいきたい。</p> <p>（委員）トレッサ横浜の中にあり、自動車でのアクセスが良いということから、他施設と比べて若年層や親子連れが多いなどの特徴は把握しているか。</p> <p>（応募団体）樽町地区は転入者が多く、転入に伴って子供のいる若い世代が非常に多い。師岡コミュニティハウスは乳幼児からお年寄りまで、すべての世代に向けて事業を行っていくが、とりわけ子育て世代を中心に事業を展開していきたい。そのためにはプレイルームを子育て支援団体とともにもう少し活用してもらえよう工夫していかなければならない。特にプレイルーム内の遊具や絵本を活用し、子育て世</p>

代へ貢献していく。

(委員)トレッサ横浜ができた当初から頻繁に利用をしているが、資料を見るまで、これほど多くのコラボイベントなどがあることを知らなかった。情報発信について、どのような方法で行っているのか。

(応募団体)PRが不足していた面もあるが、若い世代にはSNSを活用して紹介をしている。師岡コミュニティハウスの中にデジタルサイネージという電子掲示板があり、それを使って事業のPRを行っている。あわせて、「広報よこはま」の区版への掲載、町内会掲示板、エレベーター前にチラシを配架し、そこを利用する方がすぐ目につくようにしている。若い方を対象とした事業にはネットを使うのが効果的なため、旧Twitter(X)にて事業紹介もしている。施設のホームページでも自主事業のご案内をしている。

(委員)施設利用者について、令和5年39,276名、令和6年38,692名と、584名減少している。令和8・9年度の予算書の中で、利用者増加に繋げるために工夫があれば説明してほしい。

(応募団体)コロナでかなり利用者が減ったが、ようやく終息し少しずつ増えている。利用者は令和6年度の計画の40,000名から1割アップの44,000名にすると考えているが、利用者を増やすには、ニーズにあった自主事業を展開することが一番大事。トレッサ横浜や地域の団体と連携した事業を展開していく。トレンドに合った事業を展開することで、満足度をアップさせることが必要。積極的に自分たちも研究しながらやることによって利用者アップに繋げていきたい。

(委員)具体的に何を買うということは定まっておらず、手探り状態でニーズの様子を見ながら費用を使っていくという見解でよいか。

(応募団体)計画はしているが、具体的な内容は今後、委員会で地域の方、学校の方、トレッサ横浜の代表の方などの意見を聞きながら事業を進めていきたい。

(委員)師岡コミュニティハウスの活用のために、地域団体や施設内の企業とコラボレーションをする話があった。地域団体は近くの団体に声掛けすると想像できるが、商業施設の中には多様な団体があるため、ルール明確化が必要でないか。どういった声掛けをしている、またはしていく予定か。

(応募団体)早めに店長にお話をしに出向き、公共施設としての役割や制限なども理解いただいた上で一緒に事業に取り組むことにより、コミュニティハウスにもメリットがあり、お店側にも利用者との繋がる機会を持てるという話をした上で、共通認識をもって話し合いをしながら進めていく。お店側も忙しい時期があるため、落ち着くちょうど今頃の時期から準備のため声掛けをしていく。

(委員)施設の中で公募をかけるのではないということか。

(応募団体)はい。例えば苔玉に関心のある利用者が多ければ、該当する店舗に講習会をやっていただける方がいないか声掛けするなど、具体的なところに個別に話をしている。

(委員)企画があって、それにうまく合致するところに声を掛けて、お店と折り合いがつく時期を相談しながら作っているということか。

(応募団体)はい。

(委員)客層が、家族持ちで若い世代が比較的多いという話があったが、申し込みにおいて、オンラインを活用するなどの検討はされているか。

	<p>(応募団体) 現在港北区内の地区センター 6 館の運営をしているが、ネットで予約をする形になっており、他の施設にも広げていく予定。地区センターだとキャンセル時にはキャンセル料として利用料金をいただくが、師岡コミュニティハウスは無料施設のため、キャンセル料が発生しないと、キャンセルが多く出る傾向があるという課題がある。この課題をクリアした上で、地区センターと同様に他の施設にもネット予約を導入する。高齢者の方は今まで通り電話予約が良いという方もいるので、併用する形で予約システムを作っていく。</p> <p>また、部屋の予約以外にも、自主事業の予約についても一部試行的にネットでの予約に取り組み始めている。</p> <p>2 指定候補者の選定</p> <p>(1) 過去 3 か年の貸借対照表・損益計算書から応募団体の財政状況が健全であることが確認された。</p> <p>(2) 事務局から、応募団体について、市税納付状況の確認及び暴力団排除措置に伴う神奈川県警察への照会の結果、いずれの資格要件も満たしていることを報告した。また、応募団体が現指定管理者であるかどうか、「市内中小企業又は地域住民を中心に設立された団体」であるかについて報告した。</p> <p>(3) 審議時、一度仮採点した後に、各委員が仮採点結果の考え方を表明し、その結果を踏まえて本採点し、集計することを確認した。</p> <p>(4) 採点結果</p> <p>委員による採点を集計した結果、最低基準点 465 点を満たしており、次のとおりとすることを決定した。</p> <table><tr><td></td><td>団体名</td><td>採点結果</td></tr><tr><td>指定候補者</td><td>一般財団法人こうほく区民施設協会</td><td>583 点</td></tr></table> <p>(5) 区長への報告書の作成、議事録の確認は、議長に一任することを確認した。</p>		団体名	採点結果	指定候補者	一般財団法人こうほく区民施設協会	583 点
	団体名	採点結果					
指定候補者	一般財団法人こうほく区民施設協会	583 点					
そ の 他 特 記 事 項							